

ゴビンダ通信

No 41

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

March 26, 2010

支援者のみなさん、ナマステ！

無実のゴビンダ"です。寒かった冬もやっと春となり、暖かい春になりましたがみなさんお元気ですか？どんなに辛くても我慢すれば私の人生にもきっと春が来ると思っています。この明るいこと考えて、ここ横浜刑務所の中で生活しています。逮捕されてから、もう13年がたちました。長かったです。しかし辛いです。苦しいです。悔やしいです。寂びしいです。大変です。みなさん今年の四月の10日(土)東京で無実のゴビンダ"さんを支える会では大きなイベント、会議「Conference」があります。その日みなさん是非とも参加してください。これは有難い「Obliging」ことです。よろしくお願いします。更に沢山のしよめいあつめて、それからDNA かんてい「Inspection」など裁判所にとどけてください。そしてゴビンダ"は「無実」だから、1日も早く再審無罪にして、ネパールの家族のところへ送ってくださいと裁判官にアピールしてください。今年のお正月、国民救援会や支える会のみなさんから、おおよそ80枚の年賀はがきをもらいました。とおいところから、会ったことない人たちが「ゴビンダ"さんの無実を信じて応援しています」と書いてきてくださいました。本当にありがたいことです。来月の一日のいわたしです。長い間規律違反しないで、工場でWAXかける難いさぎょうをやっていますので、二りに選ばれる可能性が高いと思います。布川事件再審確定の桜井昌さん、杉山卓さん、おめでどうございませう。私のため、いつも精一杯、努力してください。全てのみなさんに、心から感謝します。どうぞ、助けてください。これからもよろしくお願いします。「無実」ゴビンダ" フラカドマイナリ。

22年3月15日 横浜刑務所にて。



足利事件再審「完全無罪」確定！ 菅家利和さん、おめでとうございます

3月26日、足利事件の再審判決公判で、宇都宮地裁佐藤正信裁判長は、菅家さんに無罪判決を言い渡した後、深く頭を下げて、次のように謝罪しました。

「菅家さんの真実の声に耳を傾けられず、17年半もの長きにわたり自由を奪う結果になったことを、この事件の公判審理を担当した裁判官として誠に申し訳なく思います。このような取り返しのつかない事態を思うにつけ、二度とこのようなことを起こしてはならないという思いを強くしています」

この判決言い渡しを受けて宇都宮地検（幕田英雄検事正）は、同日午前、上訴権放棄を申し立て、次のようなコメントを出しました。

「この無罪判決を厳粛に受け止めるとともに、真犯人でない菅家さんを起訴し長きにわたって服役させたことについて、改めておわび申し上げます。今後は、現在最高検で行っている本件捜査公判の問題点についての検証結果をも踏まえ、職員への指導を徹底するなど、再発の防止に真摯に取り組んでいく決意です」

菅家さんへの謝罪と冤罪防止への決意を、全ての裁判官と検察官、警察官が、未来永劫にわたり肝に銘じてほしいものです。

同日夜、市内で弁護士や支援者による「無罪報告集会」が開催され、布川事件の桜井さん・杉山さんなど、各冤罪事件の関係者らが「次は私たちの番」と支援を訴えました。「ゴビンダ事務局」からも熊野さんが参加、菅家さんと握手し「勝利の花束」を贈られました。

面会報告

今年もまた、ゴビンダさんにとって鬼門の「3月23日」（逮捕された日）がめぐってきました。あれから13年。「いつもこの日が近づくと、いろいろと嫌なことばかり思い出してしまう」というゴビンダさんの気持ちを少しでも明るくしたくて、あえてこの日を選んで面会に行ってきました。

横浜市営地下鉄「港南中央駅」から横浜刑務所までの道ぞいは、満開の寒緋桜で濃いピンク色に彩られています。のんびり散策を楽しむ老夫婦や公園で子供を遊ばせる母親。そんな平和な日常の風景から切り離され、この塀の中でゴビンダさんは・・・

「この13年、長かったです。一度だって、おなかが空いて、美味しくご飯を食べたことがありません。朝までぐっすり眠って爽やかに目覚めたことがありません。ずっと悪い夢の中にいるみたいな気持ちがしています。明けない夜はないといいますが、彼の「悪夢」は、いつ覚めるのでしょうか。

ゴビンダさんは、最近、「4月から2類に上げられるかもしれない」と、ひそかに期待しています。毎月一度、大掃除をするとき、工場の床に電動の重たい機械でワックスをかけるという、「難しい仕事」を任されているからとのこと。たしかに日頃の真面目な態度を評価されているのは事実でしょう。しかし、無期懲役囚が、服役6～7年でいどで2類に進めるのかどうか。あまり期待しすぎてがっかりしないようにと言ったのですが、はたして結果は？4月早々に確認して10日の集会で報告できればと思っています。（客野）

東京高裁第4刑事部に岡田雄一裁判長

門野裁判長が2月6日付で定年退官、岡田雄一（前橋地裁所長から1月25日付で東京高等裁判所総括判事）が第4刑事部の裁判長に就任しました。

ゴビンダ弁護団は、2009年7月末、再審の新証拠である押田鑑定を補強する新鑑定を提出。以来、4回にわたる三者協議（9月、10月、12月、1月）において証拠開示をもとめ、検察との交渉を続けてきましたが、検察は「必要性なし」として応じようとしていません。この裁判長交代により協議は6月まで一時中断されることになりました。詳しくは、4月10日支援集会で弁護団から報告していただきます。

布川事件 第1回三者協議開かれる

2009年12月14日付で再審開始が確定した布川事件で、いよいよ再審公判に向けた裁判所、検察、弁護団による第1回三者協議が3月19日、水戸地裁土浦支部（伊藤茂夫裁判長）で開かれました。検察側は「有罪立証する」として争う方針を明らかにしました。弁護団によると、検察側は、新たな証拠として現場に残されたパンツのDNA鑑定を提出する方針を示すなど、あくまでも「有罪立証」のため争う姿勢を示したとのこと。

再審開始決定にいたるまでの請求審において大した反論もできなかつたせに、最後まで悪あがきしようとする検察を相手に、桜井さんと杉山さんの新たな闘いが始まりました。次回協議の予定は6月11日（早ければ7月には再審公判開始か？）

可視化法案、今国会への提出見送り！？

3月17日付の報道によると（以下に引用）可視化法案の今国会への提出が見送られるとのこと。せめてこれだけは実現させてほしいと新政権に期待していたのですが、これほどまでに警察・検察の抵抗が強いということに愕然とせざるを得ません。「密室での取り調べ」が続くかぎり、冤罪は再生産されていきます。冤罪の再発防止に捜査の全面可視化が不可欠であることを、私たちは、あらためて声を大にして訴えていかなければならないと思います。足利事件の教訓を法制度改革に生かせ！

法務省は17日、犯罪取り調べの録音・録画（可視化）のための刑事訴訟法改正案について、今国会への提出を見送る方針を民主党に伝えた。同省と警察庁は夏の参院選後、可視化導入に向けた調査などに入る。これらの作業には1年以上かかる見通しで、法案提出は早くても2011年後半となる方向だ。

加藤公一法務副大臣は同日の政策会議で、(1)海外での実施状況の調査や政府内の検討作業は最短でも11年6月までかかる(2)機材整備などに数百億円規模の財源が必要となる - との理由を挙げ、今国会提出は困難と説明した。

取り調べ可視化は、冤罪（えんざい）防止策の一環として、民主党が去年の衆院選マニフェスト（政権公約）に明記。同党の小沢一郎幹事長をめぐる政治資金規正法違反事件で石川知裕衆院議員（2月に民主党離党）が逮捕・起訴されたこともあり、党内では今国会への法案提出を求める意見が強かった。（時事通信より）

報告 / 「えん罪リレートーク in 銀座 2010」

3月7日(日)、有楽町マリオン前の街頭に、名張事件、布川事件、大崎事件、北陵クリニック事件、東電OL事件などから約40名の支援者が集合し、2時間半にわたりリレートークを行いました。足利事件の菅家利和さん、布川事件の桜井昌司さんもマイクを握り、氷雨のそばふる中、冤罪事件への支援を熱っぽく訴えました。

このイベントは、名張毒ぶどう酒事件「奥西勝さんを守る東京の会」が中心になって企画したもの。名張事件では、今年1月末の意見書提出により、いよいよ最高裁決定を待つばかりとなっていたところ、この最終段階にきて検察は長い沈黙を破り反論書を出してきました。高齢の奥西勝さんを生きて取り戻すため、集中的な支援がもとめられています。

2010 無実のゴビンダさん支援集会

～ 控訴審の不当な有罪判決を破棄し、無罪判決に戻せ！
足利・布川に続き、今こそ再審開始を！ ～

日時： 2010年4月10日(土) 午後2時～5時 開場1時半

会場： 港区立勤労福祉会館(第1洋室) *詳細は同封のチラシにて

お詫び：

『冤罪File』創刊2周年特別企画「シンポジウム / 逆転有罪判決を検証する！」は、前号の通信で3月20日と予告しましたが、主催者の都合により、延期になりました。当日、延期されたことを知らずに会場に行かれてしまった方がいらっしまったようで、大変申し訳ありませんでした。

日時は、決定次第、冤罪File HP(www.enzaifile.com)でお知らせします。

事務局からのお知らせ

事務局会議：隔月第2火曜日 午後6時～8時 現代人文社：四谷駅下車徒歩8分

< 次回は2010年5月11日(火) >

ゴビンダさんに年賀状を出して下さったみなさま、どうもありがとうございました。これからも、折々に手紙を書いてあげてください(お名前にはフリガナを)。

【〒233-8501 横浜市港南区港南4-2-2 ゴビンダ・プラサド・マイナリ様】

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付 TEL: 080-6550-4669

e-mail: govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>